セナパ
呪精侍女
R-18
成人向け
ADULT ONLY

俺は目の前で起きた
非現実な光景に
息をのむしかなかった
な…
もくもくと立ちこめる
湯気からのぞく
その姿―
褐色の肌
豊満な肉体
たぷ
ぎゅ
むぎゅ
水に濡れて
妖しく輝く
黒い茂み
え…あ？
ん？
きゃあああ!!
ドキーン!!
ばあ!

話は数時間前に遡る
考古学者の叔父から
大荷物が送られてきた
どうもー
ごくろう
さまです

うわっ…これ
ミイラだな…
ミイラって国外に
持ち出せるもの
なのか？

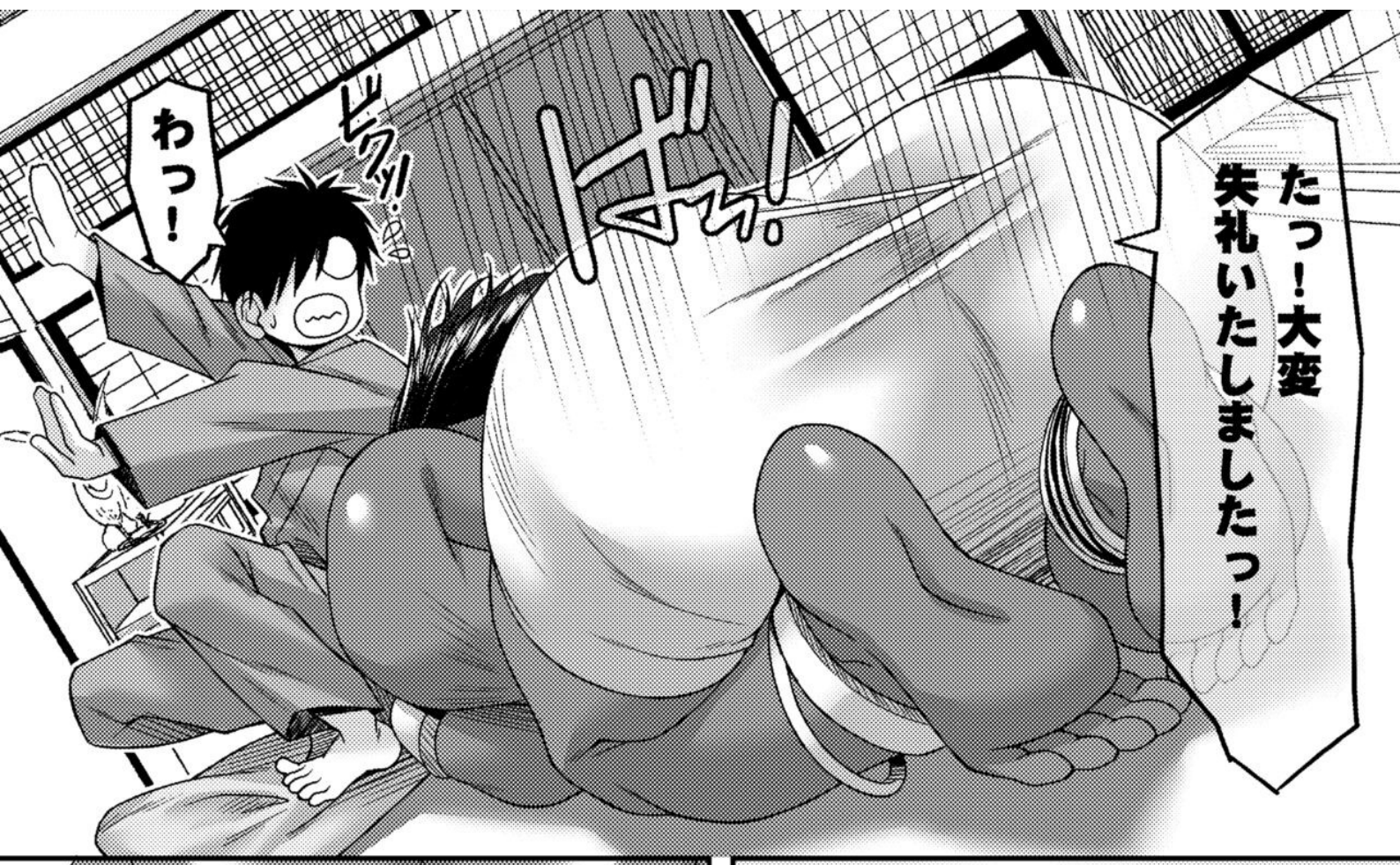
湯を張った所に浸け
置き塩・釘…
怪しい儀式
みたいだな…

最後に額に
血の刻印…って
大丈夫かこれ？
ーっ！

えーっと…
なになに…？

これで
良いのか？
こんなもんで
ミイラが
復活するかね…

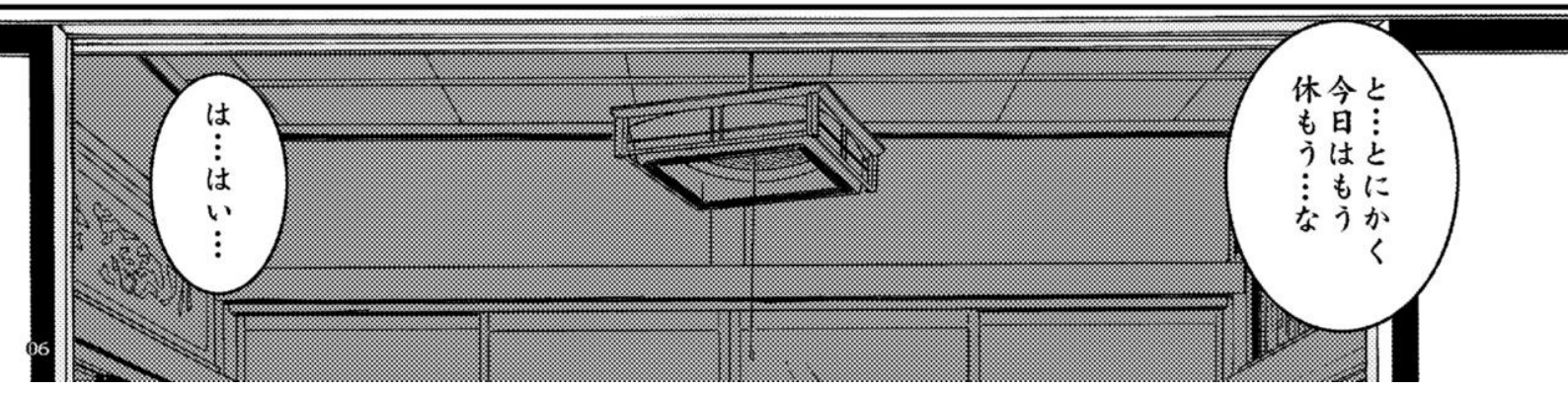
なるほど…
だいたいの事情は理解しました
お手間を掛けましたね
彼女はエジプトの王(ファラオ)に仕えた侍女なのだという
いえ…
ですがひとつ分からないことがあります
というと？
再生の儀は王に連なるものしか成功しないはずなぜ平民のあなたが…
ああ…
たぶんウチが大名の家系だから…じゃないかな？
ダイ…ミョウ？
昔この辺一帯を治めてた領主のこと俺はその子孫
――っ！
ガシャ!!
うん？


たっ！大変
失礼いたしましたっ！
ビクッ！
ぼっ！
わっ！

国は違えど王の血統！
私を再生させたのが
何よりの証拠！
そのお方に
何という無礼を…！

そう言って土下座する
彼女の姿―
どのような罰でも
お受けします…

そのとき俺の中に
何か別の感情が
芽生えた気がした
い…いや
別に…
ゴクッ…


と…とにかく
今日はもう
休もう…な
は…はい…

―って寝れるか！
あの裸が頭の中で再生され続けてる…
―…抜くか？
失礼します
主さま…まだ起きておられますか？
はっ！はいっ！
夜中に申し訳ございません
主さま？
い…いやどうしたの？
実は…呪いのせいなのか身体の火照りが止まらなく…
主さまさえよろしければ私に…精をいただけませんか？
その瞬間―
俺はこの感情を理解した

ああ…
主さま♥
私めに主さまの
子種を賜ることを
嬉しく思います♥
なっ…！何と立派なファルス
まさに王の威厳そのもの♥
ビキッ
ビキ
そう…かな？
それでは
ご奉仕を♥
ああ
はあっ♥
熱く♥硬く♥大きい♥
うっ…！
きゅ♥
ア！

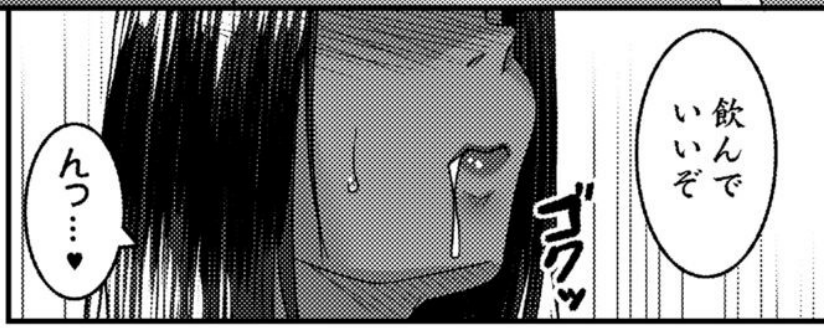
上目づかい
エロい…
裏筋から…
鈴口ほじり…
舌だけでも
上手過ぎる！
はあっ♥先走り汁も
なんて濃い…♥
私の舌に
絡みついて
きます♥
それでは…
私の口内でご奉仕
いたします♥
んっ…♥

うっ…くっ！
凄い吸いつき…！
舌だけじゃなく
口の中全体が
動いてるみたいだ…
腰ごともって
いかれる…！
うっ！チ○ポの
先が絞られて…
たっ玉袋までっ！

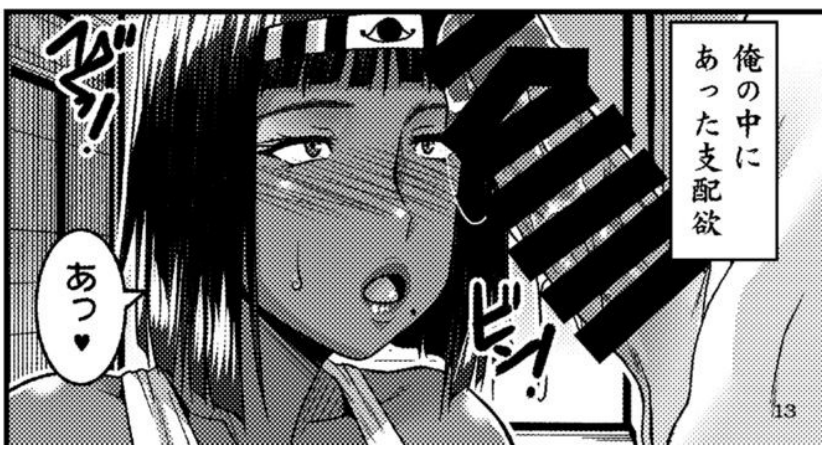
ふう♥
ああ…♥ 主さま
本当に素晴らしい
ファルスです♥
陰茎
玉袋もパンパンで
何度でも射精
できそう…♥
ちゅ
ちゅ
ちゅ
うっ…ぁっ！
もっ…
もうっ！
ジュボ
ジュボ
ジュボ
ジュボ
ビュッ！
ビュッ！

ビュビュッ!
ドクッ!
そのっ…ままっ!
飲むなっ!
ビュッ!
ビュッ!
ビュッ!
ビュルルッ!
ビュッ!
ビュルッ!
きゃんっ
ビュ♥

よし口の中を見せてみろ
む
ふぁい♥
ドロッ…
ネっ♥


飲んでいいぞ
ゴクッ
んっ…♥

ああ…
これは


俺の中にあった支配欲
ビン!
あっ♥

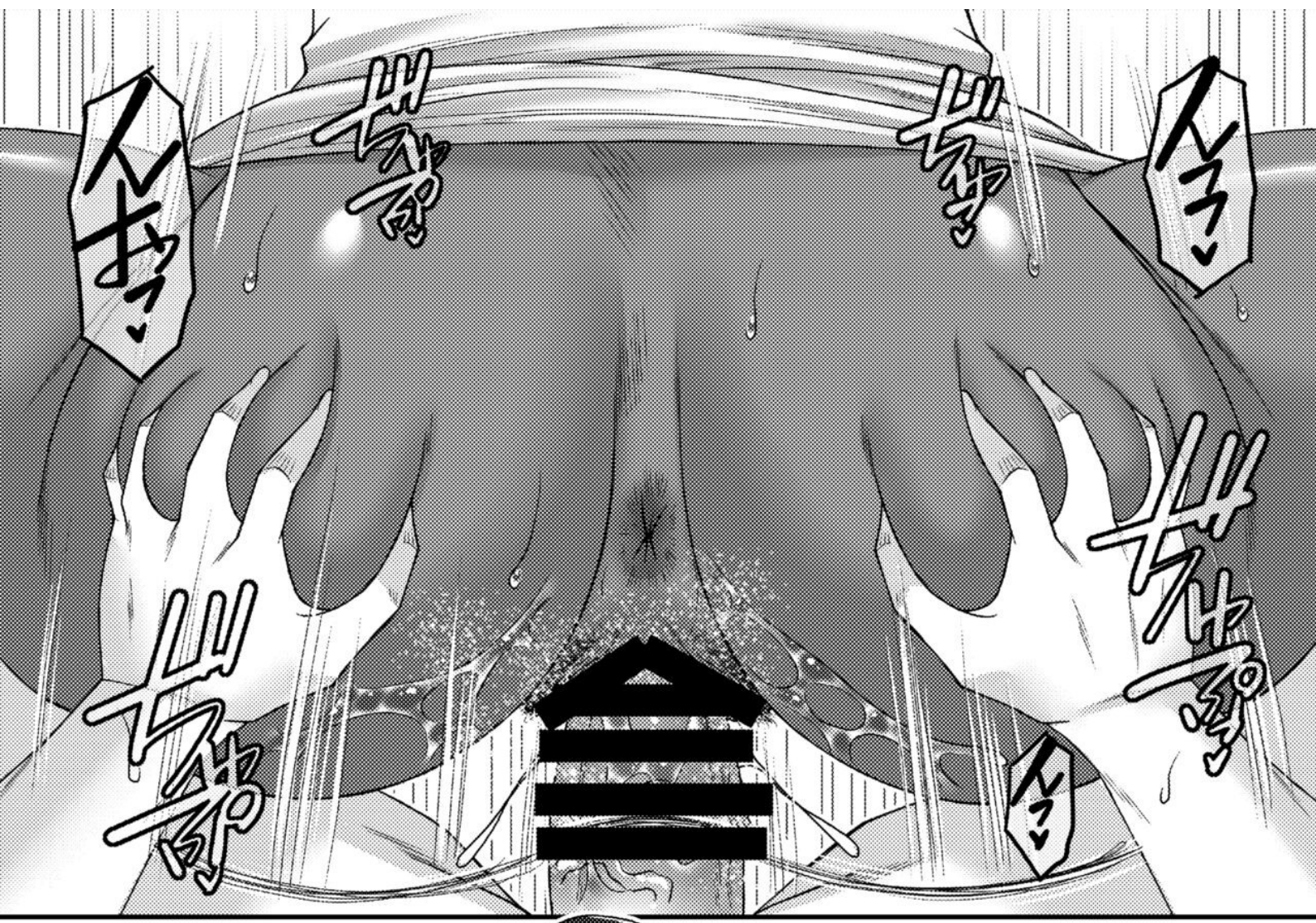
はぁ…♥
まだこんなに♥
この女が目覚めさせた!

私の膣内(なか)をご堪能下さい♥
では…♥
はっ♥
はっ♥
はっ♥
んっ♥
プッ♥
ぬぷぷっ♥
はっ♥
んっ…おっ♥
おっ…♥
ぞくぞくっ
おほ…お♥

あんっ♥
うっ…おっ
腰を振りながら
膣内(なか)が…うねって…
ああっ♥主さまっ♥
太くて硬いっ♥
主さまのファルスっ♥
隠室

ああ…♥主さまのモノが私の膣内(なか)をこすり上げて…♥
んほぉ♥
ぞーっ♥
だぷんっ
きゃん♥
きゃん♥
これっ…ではっ私が先…にっ♥
気をやって…♥
だぷんっ
だぷんっ

ビクッ!
ビクッ!
ハァ…ハァ♥
ほおおおっ♥
プシャッ!
おっ♥
んおっ…♥


イクっ♥
ズッ
ズッ
イキゅっ♥
ズッ
ズッ
イクっ♥

ひと突きするたびに
尻穴がヒクヒク
しているぞ
はいっ♥
いやらしい尻穴で
申し訳ありませんっ♥
あっ
はっ
はっ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ

あっ！主さまっ
そんなに拡げては…！
不浄の穴
ですからっ！
そうか？
拡げるとまた
締まってきたぞ
はいっ♥
どうぞ私の膣内に
お射精(だし)くださいっ♥
うっ…射精(だ)すぞっ！

ムズムズ♥
ジュルルッ!
ビクッ!
ビクッ!
ビュルッ
ビクッ
ビュー♥ッ

ああ…♥
主さまの子種…♥
熱くて…♥濃くて…♥
とても雄強(お)いです♥
トロッ
まあ主さま♥
まだこんなに…
満足なさるまで
私の身体をお使い
下さい♥
ああ…今日は
玉袋が空になるまで
するからな
はいっ♥

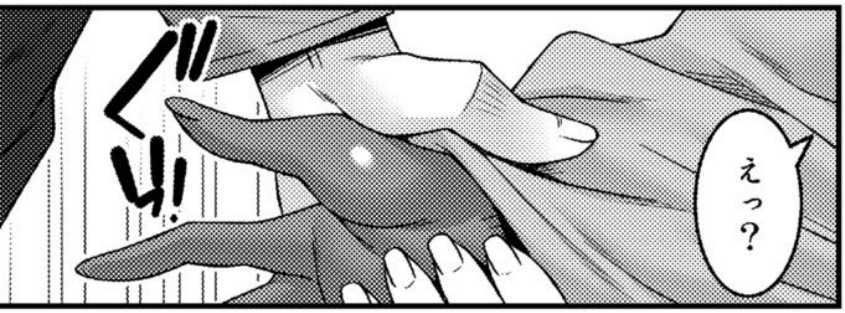
ああ…♥
主さまの子種…♥
熱くて…♥濃くて…♥
とても雄強いです♥
まあ主さま♥
まだこんなに…
満足なさるまで
私の身体をお使い
下さい♥
はいっ♥
ああ…今日は
玉袋が空になるまで
するからな
イクイクッ
ビクッ!!
ビクッ!!
ビチッ
ビチッ
ビュルッ
ビュルルッ!
ビュー…ッ
ズクズクッ

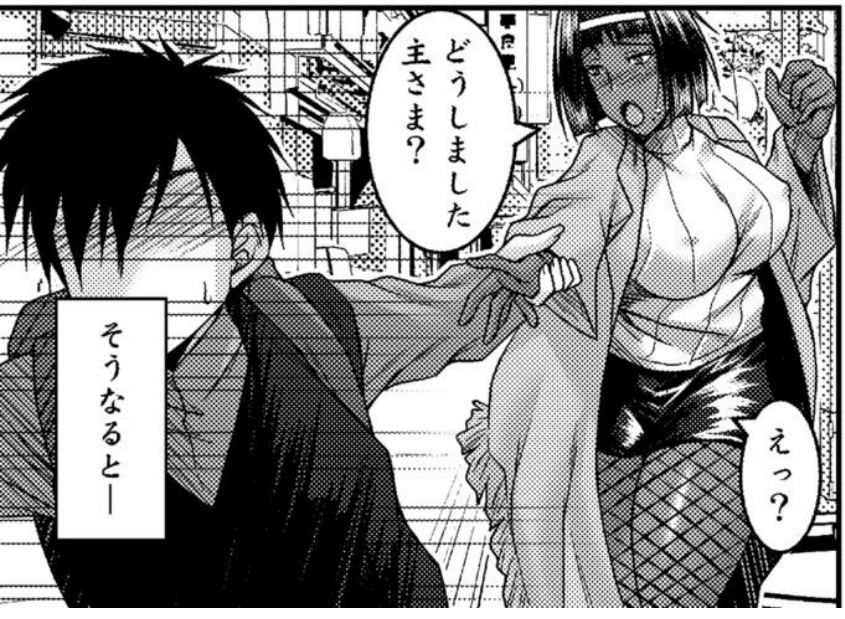
彼女と暮らし始めて
三か月ほど過ぎた
二人で買い出しに
出かけることも増えた
ただプロポーション抜群の
エキゾチックな美人は街中で
注目されることも多い
こんなに寒いのは
初めてです
本人はあまり気にして
いない様子だが
最初はガスコンロ
ひとつで
大騒ぎだったが…
いっ！一瞬で炎が！
魔法！魔法です！
ゴーッ!
朝からこんな豪華な
食事をいただける
なんて…
お気に入りは朝食の
ハチミツらしい
キラ
キラ
キラ
―？
そして…

彼女から放たれる
フェロモンのようなもの
どうしました？
ボーっとして

艶やかな唇

視線


ぐいっ!
えっ？


どうしました
主さま？
そうなると―

否応なしに刺激
される雄の本能
あの…
体調がすぐれないの
でしたら戻って…
えっ？

抑えきれない
支配欲―
はっ♥
あっ♥
うんっ♥
ああ…主さま♥
そんなに
強くされると…♥
この感触…
ノーブラ…か？
ふふ…♥
はっ…んっ♥
んっ♥
ちゅっ
ちゅっ
んんっ♥
はっ…んっ♥
あぁっ♥
くりっ
くりっ
ピンッ
ピンッ

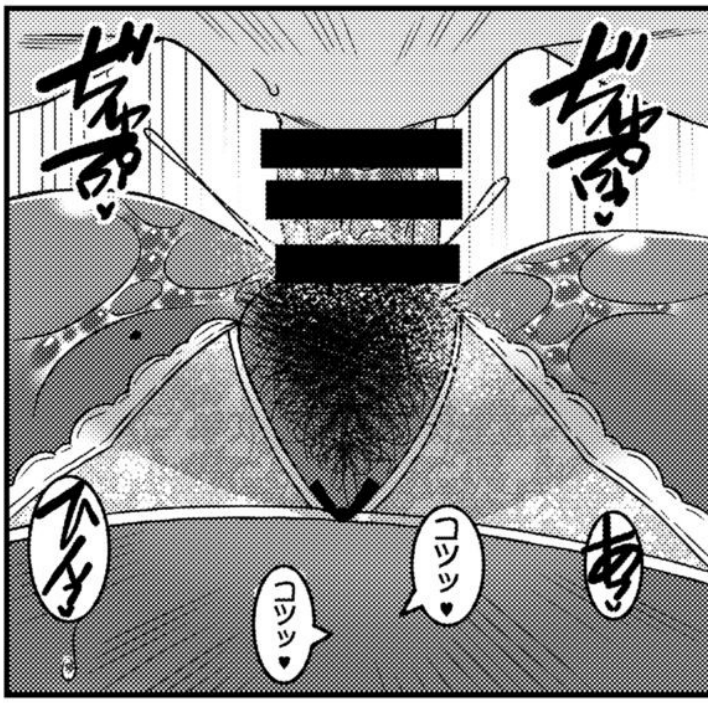
シュル…
そ…それ…
今日…ずっと
それで…
はい♥主さまから
いつ求められても
応えられるように
しておりました♥
ああ…
いいよ
このメスを貪りたい
ただそれだけ―
いかがですか？
私の姿は♥

んひっ♥
おっ♥
ほっ♥おっ♥
おくっ♥ゆびっ♥
いいっ…ですっ♥
あひんっ♥
あっ♥あっ♥あっ♥
主さまっ…♥

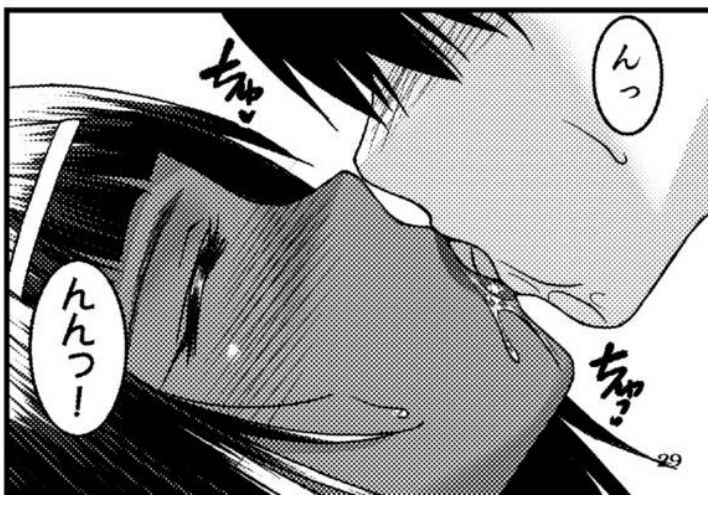
はあんっ♥
主…さまっ♥
どうぞ…その
気の…ままに♥
ああ…俺も
我慢できない
女のフェロモンが
支配欲を増大させる

んっ…♥
ぬぷっ…
ぬぷぷっ…
ピーン…
おっ♥
ぞくぞく
おっ♥
ぐぐっ
ぐぐっ
おほぉ♥
コッ
コッ
コッ
ぢゅぷ♥
ぢゅぷ♥
ぢゅぷ♥
ぢゅぷ♥

うっ…
締まるっ！


コツッ♥
コツッ♥

ああっ♥
あおんっ♥


んっ
んんっ！

おっ…おくっ♥
赤ちゃん部屋っ突いてますっ♥
主さまのファルス(陰茎)っ♥奥まで届いてっ♥
んおっ♥
んっ♥
あっ♥
あっ♥
おっ♥
おっ♥
んあっ♥

ああっ♥
ぐりぐりっ♥
ぐりぐり好きっ♥

んーいっ♥

子宮口がチ○ポを咥えて離さないな
はいっ♥
私の膣内のお口も主さまを感じていますから♥

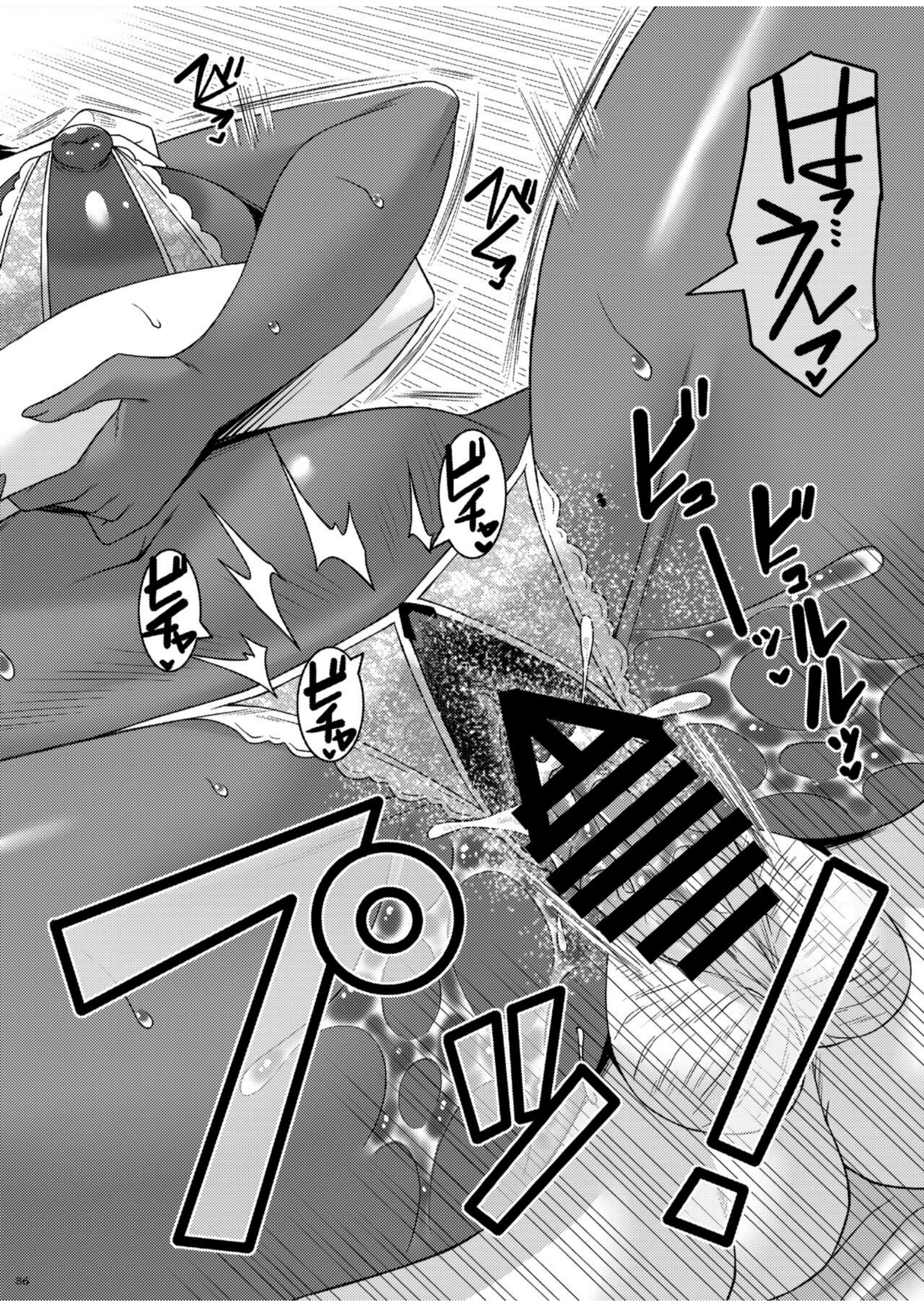
あっ…♥
ああっ♥

ビクン♥
ビュー
ビュッ
ビュッ♥
ビュッ♥
ビュッ♥
イヤーン！
おっ…♥
ビュッ
ビュッ
ビュッ♥
ビュッ♥
ビュッ
おほぉ…♥

ずちゅ
ずちゅ
ずちゅ
ずちゅ
ずちゅ
ずちゅ
ずちゅ
きゅん
きゅう
きゅう
きゅ
びく
びく
びく…びくんっ♥
イッ…♥ イクのっ♥
止まらないぃ～♥
チカッ
チカッ
はっ
はっ
はっ
はっ

イクッ
びくっ
きゅっ
きゅっ
びくっ♥
びくっ♥
イく
くりっ
くりっ
ずちゅ
ずちゅ

あっ
ズチュッ
はッ
あ
ズチュッ
AIII
ズチュッ
ズチュッ
ズチュッ
んあ
ズチュッ
KIII
チュッ
うっ！
子宮口が…
チ○ポを
吸い上げて…！
ズチュッ
チュッ
チュッ
イク
あ
イク
出す…ぞっ！
膣内(なか)で受け止めろっ！
ズチュッ
はいっ♥
ズチュッ
主さまの子種っ♥
私に下さいませっ♥
はッ


ヤッ ダメッ
ベリッ
ベリッ
ビチャ
ビチャ
ビチャ
ビュービュルルッ
AMIフロッ!!

ああ…♥
ビュー
タプッ
タプッ♥
ビクン
ビクン
ビクン
トドメ
あああ
はっ
はっ
はっ
主さまの子種が私の子宮であふれて…♥
まだ…今夜は眠れないぞ
はい主さま♥

はぅんっ♡
ビュルルッ♡
ビュー♡
ドプッ！
あぁっ♡
ビチッ
ビチッ
ビチッ
ズンッ
ズンッ
ズンッ
ズンッ
ああ…♡
ビュー♡
タプッ
タプッ
はぁ
はぁ
主さまの子種が私の子宮であふれて…♡
まだ…今夜は眠れないぞ
はい主さま♡

-奥付-
セテパイ―呪精侍女―
印刷：大陽出版株式会社
2023/12/31 野麦茶発行
https://twitter.com/nomugicha
無断複製・転載・インターネットへの
アップロードを禁じます

セテパイ
呪精侍女
R-18
成人向け
ADULT ONLY
Presented by Nomugicha
For AdultOnly